

2月定例会は2月28日に開会し、3月23日に閉会しました。当初予算9件、補正予算8件、条例8件（うち委員会提出1件）、一般7件、人事2件の計34議案のうち1件を修正可決、その他議案を可決（承認・同意を含む）しました。

令和4年度の一般会計当初予算は、前年度に比べ26億円増の1,039億6,900万円となりました。

令和4年度の重点取組

「動きます、佐賀市。」をスローガンに、令和4年度において特に重点的に取り組む内容を4本の柱でまとめた。

1. すべての市民に“安心と安全”を
2. 子どもたちに“笑顔と輝く未来”を
3. 働く人・事業者“豊かさ”と安心”を
4. 住む人・来る人に“よりよいまちの実感”を



令和4年度の予算

背景

- ◆ 社会保障関係経費の増加が見込まれる中、地方が地域社会のデジタル化や脱炭素化の取り組み等の推進、消防・防災力の一層の強化等の重要課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方一般財源総額について、前年度と同水準を確保することとされている。
- ◆ 経済状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある。国の各種政策の効果等もあって、景気が持ち直していくことが期待されるものの、新たな変異株の出現による感染症の拡大への懸念が生じており、地域経済の回復はいまだ途上にある。
- ◆ 健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に活用し、重点的に取り組む4つの柱を着実に遂行し、市民が暮らしやすい、豊かなまちづくりに資する予算編成を講じている。

令和4年度の予算総額

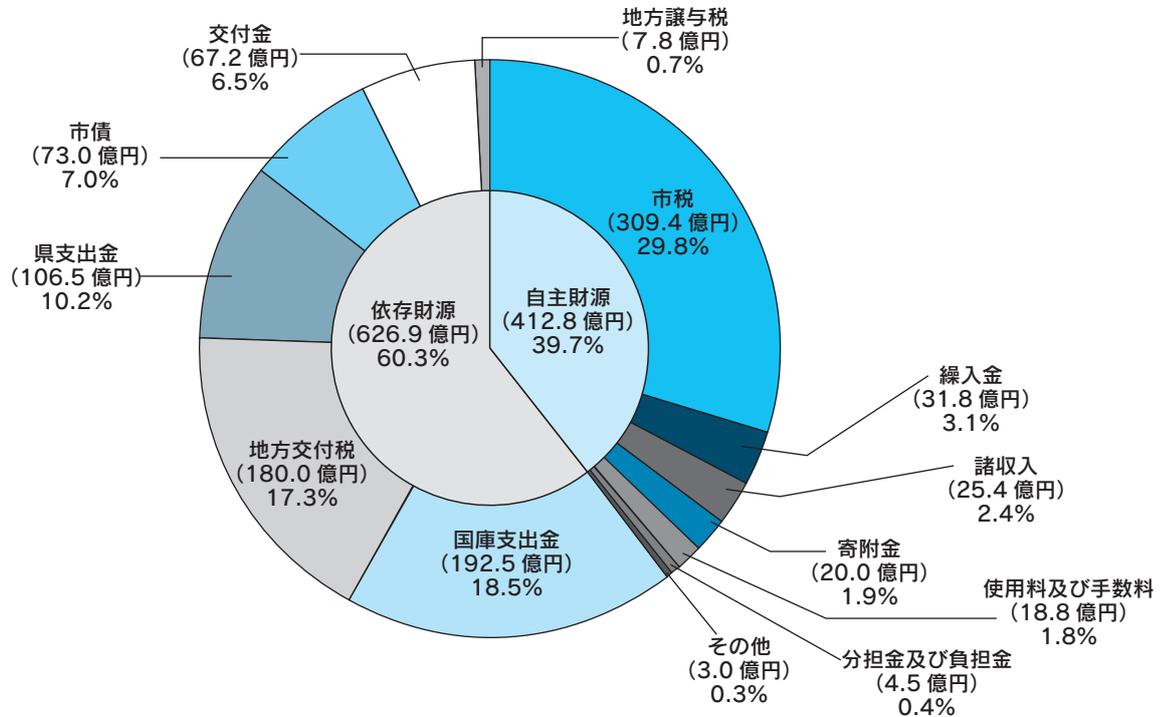
会 計		予算額	増 減(前年度比)
一般会計		1,039億6,900万円	26億円 (2.6%)
特別会計	国民健康保険	261億4,600万円	△2億7,700万円(△1.0%)
	国民健康保険診療所	1億1,900万円	700万円 (6.3%)
	後期高齢者医療	36億6,100万円	2億1,600万円 (6.3%)
企業会計	自動車運送事業(市営バス)	12億1,200万円	△800万円(△0.7%)
	水道事業	75億2,900万円	6億9,000万円(10.1%)
	工業用水道事業	1,800万円	— 万円 (0.0%)
	下水道事業	170億9,100万円	△7億5,800万円(△4.2%)
	富士大和温泉病院事業	17億300万円	△9,200万円(△5.1%)

※ 端数処理のため、増減率が一致しない場合があります。

◎令和4年度当初予算一般会計の状況

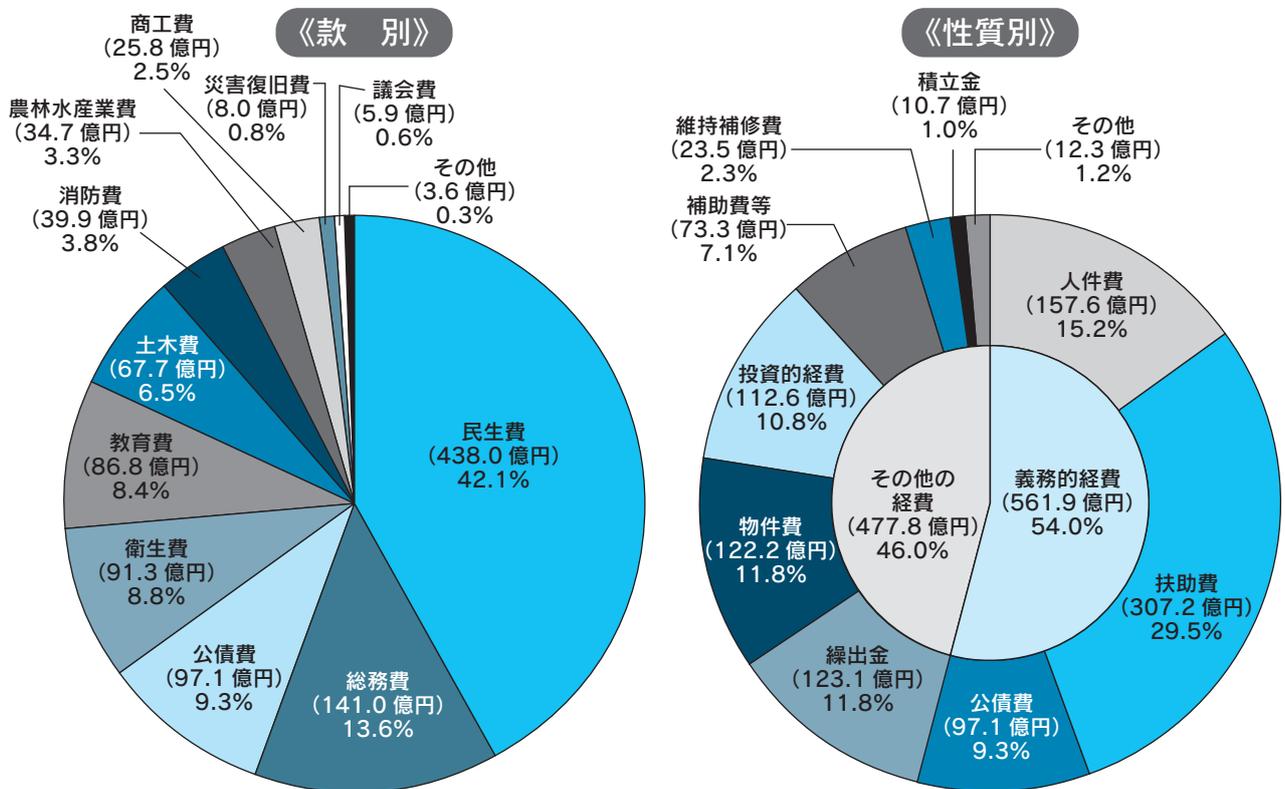
【歳入】

〔歳入総額 1,039億6,900万円〕



【歳出】

〔歳出総額 1,039億6,900万円〕



※端数処理のため構成比が一致しない場合があります。